

「βラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性インフルエンザ菌(BLNAR)の  
迅速診断法の開発」の研究に関するお願いとお知らせ

インフルエンザ菌は基礎疾患を持たない健常者にも肺炎を引き起こすほか、髄膜炎や関節炎などの様々な重症感染症を引き起こす病原体です。診断には培養検査を行います。早期に適切な抗菌薬を選択すれば、速やかな治癒が見込める疾患です。一方、薬剤耐性菌の存在が報告されており、迅速かつ簡易な方法で耐性菌かどうか判断できる検査方法の開発が望まれております。

本研究では、2010年1月1日以降、当院に受診されたインフルエンザ菌感染症の方から分離・培養された菌株を用い、当科で開発した新しい技術を応用して、菌の種類と、薬剤の耐性菌であるかどうかについて迅速判定できるかを検証します。本研究では分離・培養された菌株の感受性検査（どの抗菌薬が効果があるのか調べた検査）の情報も使用しますが、受診された方の感受性検査の情報は個人情報と無関係な番号によって匿名化した上で管理しますので、これらの情報が個人に結びつけられることはなくプライバシーは保護されます。さらに、研究のために受診された方から新たに検体を採取したり、検査を行ったりすることはありません。なお、研究成果については学術雑誌等への報告を予定しております。

上記期間に当院でインフルエンザ菌感染症の診療を受けた方で、ご自身から分離・培養された菌株と、感受性検査の情報を研究に使わないでほしいというご希望が有れば、下記の連絡先までご連絡をいただけますようお願いいたします。今回の研究への使用の拒否の意思を表明されても、防衛医科大学校病院における診療には全く影響はなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。

連絡先：防衛医科大学校病院 小児科

TEL：04-2995-1211

内線：5696